

特別支援学級 生活単元学習指導案

熊本市立天明中学校 教諭 永瀬 順子

1. 単元名 牛乳パックのリサイクルをしよう ～クリスマスオーナメント作り～

2. 単元の目標

○牛乳パックは質の良い再生紙の原料となり、1リットルパック6個でトイレットペーパーが1本作られることを知る。さらに再生紙ができる工程を実際に体験し理解を深める。

(知識・技能)

○再生紙の作品として、クリスマスオーナメントを作成する。その際、きれいに仕上がるような工夫をしたり、自分好みの図案を使ったりして、オリジナルな作品を作る。(思考・判断・表現)

○紙のリサイクル体験を通して、安易に紙をゴミにせず、できるだけ分別し資源物として活用する態度を身につける。(思考・判断・表現)

○主体的に制作に取り組むとともに、作品を用いて進んで暮らしを彩ることができる。

(主体的に学習に取り組む態度)

3. 単元について

(1) 教材観

生活単元学習の、季節を感じ暮らしを豊かにする学習の一つとして、クリスマスオーナメント作りを行う。安価で手に入るものが多く販売されているが、牛乳パックをリサイクルして手作りすることで、廃品を活用するSDGSの12「つくる責任つかう責任」を学ぶことができる。さらに、牛乳パックのリサイクルは学校給食で取り組んでいるので生徒にとって身近である。家庭でも1リットル牛乳パックはよく利用しており、材料が手に入りやすい。牛乳パックのリサイクルには、再生紙を手作りする方法と、牛乳パックの丈夫さを利用して暮らしに役立つものを工作する方法がある。これらのリサイクルの体験を通して、資源を再利用する意味を理解し、分別回収に協力する態度を養うことができる。

(2) 生徒観

生徒は男子3名で体験的活動に関心が高く意欲的である。作業工程を分けて、一つ一つ目標がはっきりしていると、集中して取り組むことができる。技能面ではハサミやのりなどの用具を使いこなす練習が必要である。苦手な作業があっても、みんなで協力して活動し完成させることで、達成感を得て、次への意欲とつなげることができる。紙の分別は教室でも行っているが、まだ十分に身につけておらず、新聞紙を安易に丸めて捨てようとするところがあるので、声をかけて資源ゴミに分別するように促している。

(3) 指導観

給食の牛乳パックを洗っている意味や、1リットルパックを回収するスーパーがあることなどから問題提起し、牛乳パックからトイレットペーパーを作る工場の動画を視聴させる。紙の原料は木材であり古紙をリサイクルすることが森林を守ることにつながることなどを学ばせる。主となる活動は、パルプ液を作ることと、紙すきの工程である。それらの作業を一つ一つ楽しく体験しながら進めていく。できあがったオーナメントで教室を飾り、みんなで作品を認め合い、季節感を味わうことで満足感が得られると考える。学習を経て、ゴミの分別への意識が高まるよう、SDGSの視点を強調していきたい。

(4) ESDとの関連

・本学習で働かせるESDの視点(見方・考え方)

Ⅲ有限性・・・牛乳パックを燃えるゴミとして処分する人が多いと、資源の枯渇につながる。

V責任性・・・消費者一人一人がゴミの分別回収に努めなければならない。

・本学習で育てたいESDの資質・能力

- ① 批判的に考える力…紙を無駄遣いしたり、燃やすゴミとして安易に捨てたりしていないか。
- ② 未来像を予測して計画を立てる力…紙を使った後、資源ゴミとして出すために、正しく分別することができる。
- ③ 多面的・総合的に考える力…環境や資源の有効利用を考えて暮らしを工夫することができる
- ④ コミュニケーションを行う力…学んだことを家族に伝え、家庭生活に役立てることができる
- ⑤ 他者と協力する力…作業を進めるうえで、友だちの苦手なところを補い合うことができる
- ⑥ つながりを尊重する態度…力を合わせて作品を完成させ、教室を飾ることができる。
- ⑦ 進んで参加する態度…材料集めや制作に進んで取り組むことができる。さらに、学校や家庭で日常的にゴミの分別回収や資源を大切に使うことを心がける。

・本学習で変容を促すESDの価値観

自然環境、生態系の保全を重視する(生物多様性の重視)

- ・自分たちの暮らしを工夫すれば、資源を有効に生かし、循環型の社会を実現することができることに気づき、実践しようとする態度が身につく。

・達成が期待されるSDGs

12 つくる責任つかう責任

4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①紙をリサイクルすることで、森林を守ることができることを知る。 ②牛乳パックから再生紙を作ることができる。	①よい作品を作るために工夫することができる。 ②友だちと協力して、効率よく作業を進めることができる。 ③学習したことを暮らしに生かすことができる。	①必要な牛乳パックを準備することができる。 ②準備や片付けを含め、作業に主体的に取り組むことができる。

5. 単元の指導計画（全8時間）

次	主な学習活動	学習への支援	評価
1	<p>紙のリサイクルについて知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 給食の牛乳パックは何になるのかな？トイレットペーパーかな？ ・ 自分でやってみたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 動画で古紙からトイレットペーパーができる様子を見せ説明する。 ・ 動画で牛乳パックから手すきの紙を作る方法を見せ説明する。 	<p>ア① ウ①</p>
2	<p>牛乳パックの再生紙でクリスマスオーナメントを作る。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ハサミで切り開き、長方形に切り、洗剤液につける。 ② 表面のビニールをはいで洗う。 ③ 手でちぎる。 ④ ペットボトルに③と水とビー玉を入れ激しく振る。 ⑤ 容器に出し、絵の具で着色し混ぜる。 ⑥ 金網の上に丸い型を置き、⑤のパルプ液を箸で敷きつめる。 ⑦ クリスマスのイラストをのせ、金網で挟んで手で押さえ水分を絞る。 ⑧ 乾燥させてアイロンをかける。 ⑨ キリで穴を開け、ひもを通す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハサミを安全に使えるよう支援する。 ・ はぎ残しがないか確認する。 ・ 根気強く取り組ませる。 ・ 歌を歌いながら、楽しくリズムカルに振る。 ・ 用具を一人一セット準備する。 ・ 箸とスプーンを併用する。 ・ 形がそろわなくてもよしとする。 ・ 好きなイラストを選び楽しく作れるようにする。 ・ アイロンを安全に使えるよう支援する。 ・ 穴あけは教師が行う。 ・ ひも結びを支援する。 	<p>イ① イ② ウ② ア②</p>
3	<p>教室にクリスマス飾りを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手作りのオーナメントはいいな。 ・ 家に持って帰りたいな。 <p>感想を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分で紙を作って楽しかった。 ・ 牛乳パックが役に立ってよかった。 ・ これからは紙のリサイクルをがんばりたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教室を飾った後は家庭に持ち帰らせる。 ・ 紙などの資源を再利用するために分別回収を心がけるよう呼びかける。 ・ 牛乳パックを利用した工作にも挑戦することを伝える。 	<p>イ③</p>

